



今月22日、県内の地方議員団と共に杉浦・佐々木・石黒・岸本市議が参議院議員会館において政府要望・交渉を行いました。

国保料の引き下げや35人学級実施に伴う学校の教室不足の対応、鳥獣被害対策など要望を伝え、実現へ向けて意見交換をしました。

その中で、要望の強い鳥獣害対策費は来年度100億円の予算が予定されており、事業計画を早期に立案・提出するよう市に働きかけていくことなど、今後の市政に生かすことができるものもありました。

交渉には、こくた恵二衆議院議員、山下よしき参議院議員も同席・激励されました。「政府には地方の現状をリアルに伝え、ねばり強く訴え続けることが大切」というアドバイスもあり、国の政策が地方に直接関わる傾向が強まる中、切実な住民の声を届けて実現にとりくむという地方議員としての役割を果たすべくいっそうの努力を強めていこうと決意を新たにしました。



発言する
佐々木市議

(佐々木しょういち)

鳥獣害対策強化などを要望

共産党議員団が政府交渉

国保料引き下げ、保育園増設などを市長に要望

予算編成に当たり1・2・9項目の政策要望を提出・懇談

共産党市議団は、大津市の来年度予算編成への政策要望を目片市長に提出・懇談しました。金融危機に続く円高不況で市民生活も地域経済もますます深刻な状況になっており、日本経済全体の回復の見通しが無いのが実情です。市議団はこうした



もつて、国と自治体が市民生活の向上に重点をおき、雇用の安定と拡大、社会保障の再生、地域経済の活性化に取り組みることが重要であることを指摘し、政策の実現を求めました。適正な賃金や労働条件確保のための公契約条例の制定、市民の立場に立った生活保護行政の推進、貧困問題解決へ職業訓練や臨時就労の機会の提供、国保料の引き下げ、学生の就職活動の支援、地球温暖化防止への積極的な取り組み、マンション管理の支援、トイレやクーラーなど学校施設・設備の整備促進など

ど、市の各部署に対して1・2・9項目にわたる政策を提案。また、相次ぐ不祥事について、倫理の徹底と、これまでの教訓から管理強化でなく職場環境の改善を適切におこなうことを求めました。目片市長ら市幹部は、「検討させていただく」と回答。政策実現のため、議会での論戦をさらに発展させるとともに、市民のみなさんと力を合わせて運動を進めていきます。

政策要望の全文は市議団ホームページに掲載しています。
<http://www.otsu-jcp.net/>

61億円一般会計補正予算などを審議

11月議会がはじまります

11月29日から市議会定例会が始まります。主な議案は61億円にのぼる一般会計の大型補正予算で、収入では市税が17億円、地方交付税が25億円、臨時財政対策債（地方交付税の振り替え）が15億円、昨年度よりの繰越金が8億円となっています。

市はこの財源を使って、今年度で終了する競輪事業の赤字解消に26億円、事業が完了している雄琴駅土地区画整理事業の赤字解消に10億円、来年度以降の産業廃棄物処理公社の事業廃止のための費用なども見込んでいます。

他に狭隘道路の拡幅整備に関する条例制定や人事院勧告に基づく人件費の削減の条例改正、浜大津保育園をはじめとする公共施設の指定管理議案なども提案されています。

共産党市議団は、これら議案に対する質疑をはじめ、来年度の予算編成に関わる市民要望などを取り上げて、全議員が質問する予定です。傍聴やネット中継なども是非ご覧ください。

11月議会の主な日程

- 11月29日(月) 市議会開会
 請願締め切り(正午)
- 12月6日(月)～8日(水)
 質疑・一般質問
- 10日(金) 各常任委員会
- 14日(火) 各特別委員会
- 16日(木) 閉会(議案の議決)

ぜひ傍聴にお越しください!